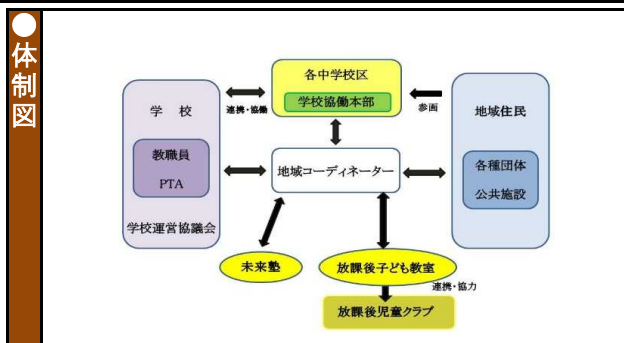


こんな活動です

地域力・子どもパワー全開！ ～地域ぐるみで子どもを育てよう～

徳島県つるぎ町	●活動名	●関係する学校名
	つるぎ町半田地区学校協働本部	つるぎ町立半田小学校 つるぎ町立半田中学校

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	102 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
	地域未来塾	放課後子供教室	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	2人		2人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成24年2月8日設置		64人				
参考URL	—						
●連絡先	つるぎ町教育委員会	☎ 0883-62-2331					



●活動の概要・経緯
山間部の小学校のみで行っていた放課後子供教室を平成27年度から平坦部の小学校でも実施することにより、全小学校で放課後子供教室を開設、未来塾も平成27年度から全中学校で実施している。これらの事業にかかわる教育活動推進員やPTA、婦人会組織、老人クラブなどの社会教育関係団体の協力により学校協働本部を立ち上げる。未来塾は生徒、保護者に強い支持を受け、5割以上の生徒が参加している。放課後子供教室も自分の好きな活動を児童が選択し活動を楽しんでいる。両活動共に、年2回の運営委員会を開催し、活動の反省や次年度の取組について協議している。協議の中で活動に地域の伝承や伝統文化を取り入れることが決まり、平成30年度からは、郷土伝承活動と地域文化の学習、町並み案内を取り入れ、地域の活動に参加し、地域を知り地域の人と共に活動が行えるよう計画、実践している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・中学生対象の未来塾は、個別指導で各学年3教科(数・英・国)、各2名の学習活動支援員を配置し取り組んでいる。ICT機器を利用し、学習支援ソフトによる学習の確認や予習を行っている。1年間を3回に分け各学年から1名ずつ選出し努力賞を渡している。保護者には、学習報告書を配付し、連携を図っている。
- ・放課後子供教室は、いろいろな分野の活動を行い、伝統文化や郷土芸能は専門の指導者から学んでいる。今年度は、地域の文化を学習し、地域の課題を学び、地域イベントで町並み案内を行う。地域で行う文化協会の発表会に参加したり、学習の報告として「春の発表会」を企画したりする。
- ・学校運営協議会が主体となり、空き缶・空き瓶の回収を行い資源の再利用に取り組んでいる。

【実施に当たっての工夫】

- ・生徒の学習状況を保護者に理解してもらうため、学習の理解度や学習態度を報告書にまとめ定期的に報告する。また、安心・安全な活動場所として未来塾の活動ができるよう、欠席時の連絡を義務付けている。
- ・山間部から通学している子供は、放課後子供教室の終了時間と迎えの時間に空白時間が出来ないよう保護者とコーディネーターが連絡を密にして連携を図っている。
- ・伝統文化や郷土芸能などの指導者を専門家に依頼し、日本文化の学習内容を深めるようにしている。
- ・町広報誌や防災無線を利用して、空き缶・空き瓶、段ボールなどの回収を呼びかけ、全町民に協力をお願いし実施している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・未来塾の学習報告を行うことで、保護者の未来塾に対する関心が高まり、子供の学習意欲や学習態度の向上につながっている。
- ・放課後子供教室では、春の発表会や地域での催し物に参加することで、地域住民との結び付きが深まり、子供たちの活動に強い関心を持ってくれるようになった。地域にどのような子供がいるか情報交換の場にもなり、地域で子供を見守ろうとする気持ちが芽生えている。
- ・協働活動支援員や学習支援員は、活動を通じて子供や保護者と良い関係を築くことができ、子供たちと一緒に活動することを楽しみにしており、地域の活性化につながっている。

● その他

- ・地域文化や郷土芸能を地域住民の方々から学習する。発表会は町の文化財や公民館など地域の人が身近に行き来できる施設で毎年行っている。



地域文化の伝承「坂外獅子舞保存会」の学習



国登録有形文化財「織本屋」で「春の発表会」実施